



広報

なほ

市民の友

第602号 毎月1回発行

2001年(平成13年)

3月

発行●那覇市 編集●広報統計課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎ 867-0111 ●印刷(協)丸正印刷

「那覇市民の時間 毎週日曜日」
ROK 午前11時45分から55分まで

みんなであそぼう
ラ・ヌーバ



沖縄の長寿食に舌つつみ

主な紙面

- (2面) 新都心公営住宅建設に着工
- (3面) Let's! ウォッチング安謝川
- (4面・5面) 平成13年度 施政方針(前半)
- (6面) 愛楽園を激励訪問
- (7面) 情報PAC K

昭和59年から始まった学校給食。21世紀スタートの年、1月25日に、本市で完全給食が最初の実施され、文部大臣表彰を受けた前島小学校で、那覇市長はじめ市の三役、市議会議員、教育長やPTA役員23名をまねいた招待給食会がおこなわれました。前島小学校は、生徒数352人、職員31人の過少校ですが、元氣いっぱいな子どもたちの声が響きわたり、活気がみなぎっていました。特に、学校給食は児童たちが一番楽しみにしている時間で、どの子の表情もこやかです。

招待給食の献立は沖縄県でとれた地産産物を使った「長寿食」で栄養のバランスと献立に変化をもたせた料理になっています。招待を受けた市長らは、それぞれ児童たちに教室へと案内されました。普段の給食の時間とはチョッと違う雰囲気、緊張気味の児童たちも、給食が配られ食事を一緒にするうちに、日頃の給食風景に変わっていきました。

翁長市長が児童たちにやさしく声をかけ、話しかけると、すぐにくちとけ、「市長!何年生まれ、血液型は」と、かわいいうちでの質問攻めが始まりました。市長もおいしい給食に舌つつみをつちながら子供たちとの会話を楽しみました。

招待給食会

ようこそ前島小へ



園比屋武御嶽石門は、世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の中での、「記念工作物」に位置づけられています。

園比屋武御嶽は、首里城の正門に当たる敷門と、守礼門との間にあり、「琉球国由来記」(二七三年)によれば、「モジリキヨウニギリキヨウ」という神を祀っていました。ある時、国王が外出しようとする、この神が現れ、その忠告によって難を逃れたという民話が伝えられており、国王が外出する際には、道中の無事を祈りました。

また、国家的祭祀を司る神に仕える女性たちの最高位であった間得大君(きこえおきみ)が、就任する際の儀礼「御新下り(うあらうい)」は、首里城の外郭や弁ヶ嶽の石門も手がけ、その功績によって、八重山の頭職に初めて任じられました。

石門は、神社でいう拝殿に当たり、今日までもなお人々の崇敬を集め、詣でる人々の姿が絶えません。

(那覇市教育委員会 文化財課)

世界遺産

「琉球王国のグスク及び関連遺産群」② 園比屋武御嶽石門 (そのひやうたきいしもん)

園比屋武御嶽石門は、世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の中での、「記念工作物」に位置づけられています。

園比屋武御嶽は、首里城の正門に当たる敷門と、守礼門との間にあり、「琉球国由来記」(二七三年)によれば、「モジリキヨウニギリキヨウ」という神を祀っていました。ある時、国王が外出しようとする、この神が現れ、その忠告によって難を逃れたという民話が伝えられており、国王が外出する際には、道中の無事を祈りました。

また、国家的祭祀を司る神に仕える女性たちの最高位であった間得大君(きこえおきみ)が、就任する際の儀礼「御新下り(うあらうい)」は、首里城の外郭や弁ヶ嶽の石門も手がけ、その功績によって、八重山の頭職に初めて任じられました。

石門は、神社でいう拝殿に当たり、今日までもなお人々の崇敬を集め、詣でる人々の姿が絶えません。

(那覇市教育委員会 文化財課)

